

2024年3月期 決算説明資料

株式会社 チノー
(東証プライム : 6850)

1.2024年3月期決算

- 1) 決算ハイライト
- 2) 業績サマリー
- 3) 営業利益増減分析
- 4) 四半期別連結売上高の推移
- 5) セグメント別の業績動向
- 6) 連結貸借対照表
- 7) 連結キャッシュ・フロー
- 8) 地域別売上高

2.設備投資・減価償却費の推移

3.株主還元

4.トピックス

5.FY2023の業績予想の達成状況

6.FY2024の業績予想

1.2024年3月期決算

1) 決算ハイライト

2024年3月期 連結業績

売上高、各利益いずれも過去最高額を達成

受注高



27,458百万円

前期比 1.3 %減



売上高



27,425百万円

前期比 15.3 %増



受注高は、脱炭素関連（燃料電池評価試験装置や水電解評価装置）の需要が継続するも、第1四半期の減少の影響を受け年間では前期比では減少。

※下期以降は、前年同期比プラスを確保。

売上高は、当社顧客の設備投資が堅調に推移するとともに、部材供給不足が一部を除いて解消したこと等により増収。

<利益面>

営業利益



2,173百万円

前期比 7.7 %増



経常利益



2,413百万円

前期比 5.2 %増



四半期純利益 (親会社株主に帰属)



1,756百万円

前期比 14.3 %増



利益は、部材価格高騰・新規開発案件の原価率への影響はあったものの、増収効果に加え、販売価格の見直し・政策保有株式の売却等により各項目とも増益。

2) 業績サマリー (1)

◇ 連結業績

(百万円)

	FY2022	FY2023	対前期増減額	対前期増減率
受注高	27,829	27,458	▲ 371	▲ 1.3%

	FY2022	FY2023	対前期増減額	対前期増減率
売上高	23,793	27,425	3,631	15.3%
売上総利益	7,869	8,390	521	6.6%
<利益率>	<33.1%>	< 30.6% >	<▲ 2.5p>	
営業利益	2,018	2,173	155	7.7%
<利益率>	<8.5%>	< 7.9% >	<▲ 0.6p>	
経常利益	2,294	2,413	118	5.2%
<利益率>	<9.6%>	< 8.8% >	<▲ 0.8p>	
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,536	1,756	219	14.3%
<利益率>	<6.5%>	< 6.4% >	<▲ 0.1p>	

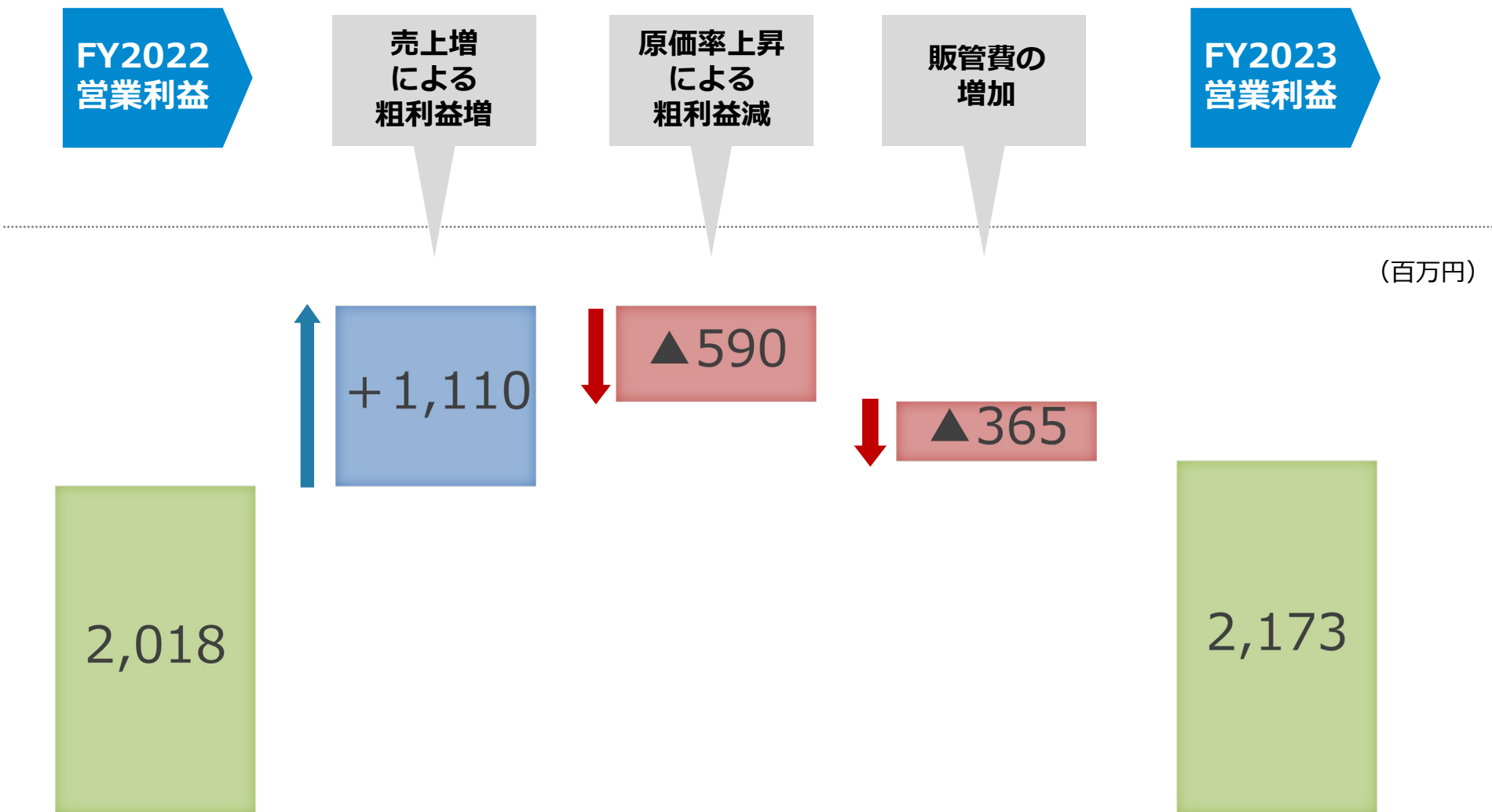
2) 業績サマリー (2)

◇セグメント別業績

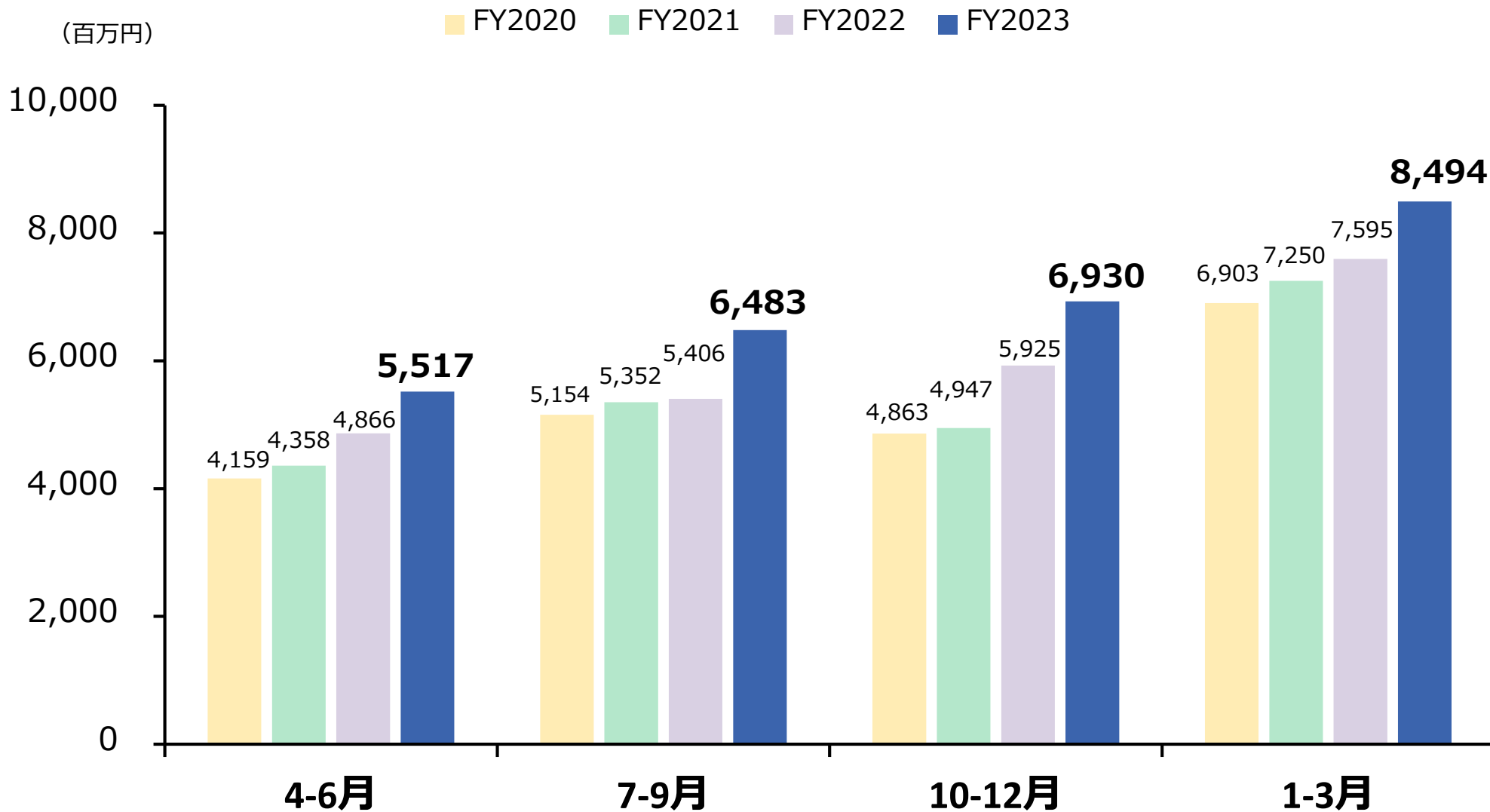
(百万円)

	受注高				売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	FY2022	FY2023	増減額	増減率 (%)	FY2022	FY2023	増減額	増減率 (%)	FY2022	FY2023	増減額	増減率 (%)
計測制御機器	8,497	8,307	▲ 189	▲ 2.2	8,617	9,169	551	6.4	1,226	1,173	▲ 52	▲ 4.3
計装システム	11,126	10,656	▲ 469	▲ 4.2	7,131	9,699	2,568	36.0	1,015	1,268	252	24.9
センサ	7,481	7,672	190	2.6	7,124	7,549	424	6.0	1,304	1,398	94	7.2
その他	724	821	96	13.4	919	1,006	86	9.4	232	302	69	30.0
全社費用									▲ 1,760	▲ 1,968	▲ 207	—
合計	27,829	27,458	▲ 371	▲ 1.3	23,793	27,425	3,631	15.3	2,018	2,173	155	7.7

3) 営業利益増減分析



4) 売上高の推移



5) セグメント別の業績動向 ① 計測制御機器

損益状況

売上高

9,169百万円 前期比 6.4%増



セグメント利益

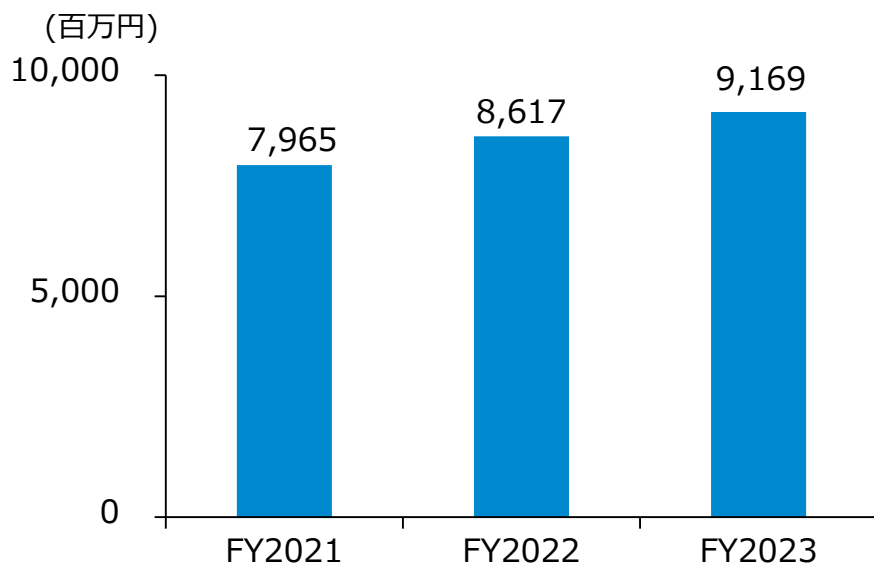
1,173百万円 前期比 4.3%減



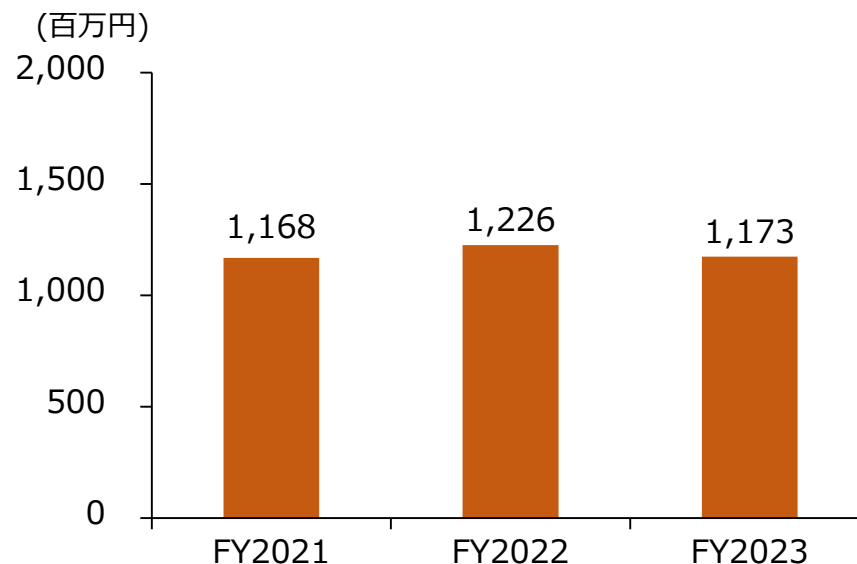
製品別状況

- 半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に需要は堅調
- 海外市場は年度後半より新規受注が停滞
- 利益は、部材価格の高騰等により前期比で減益

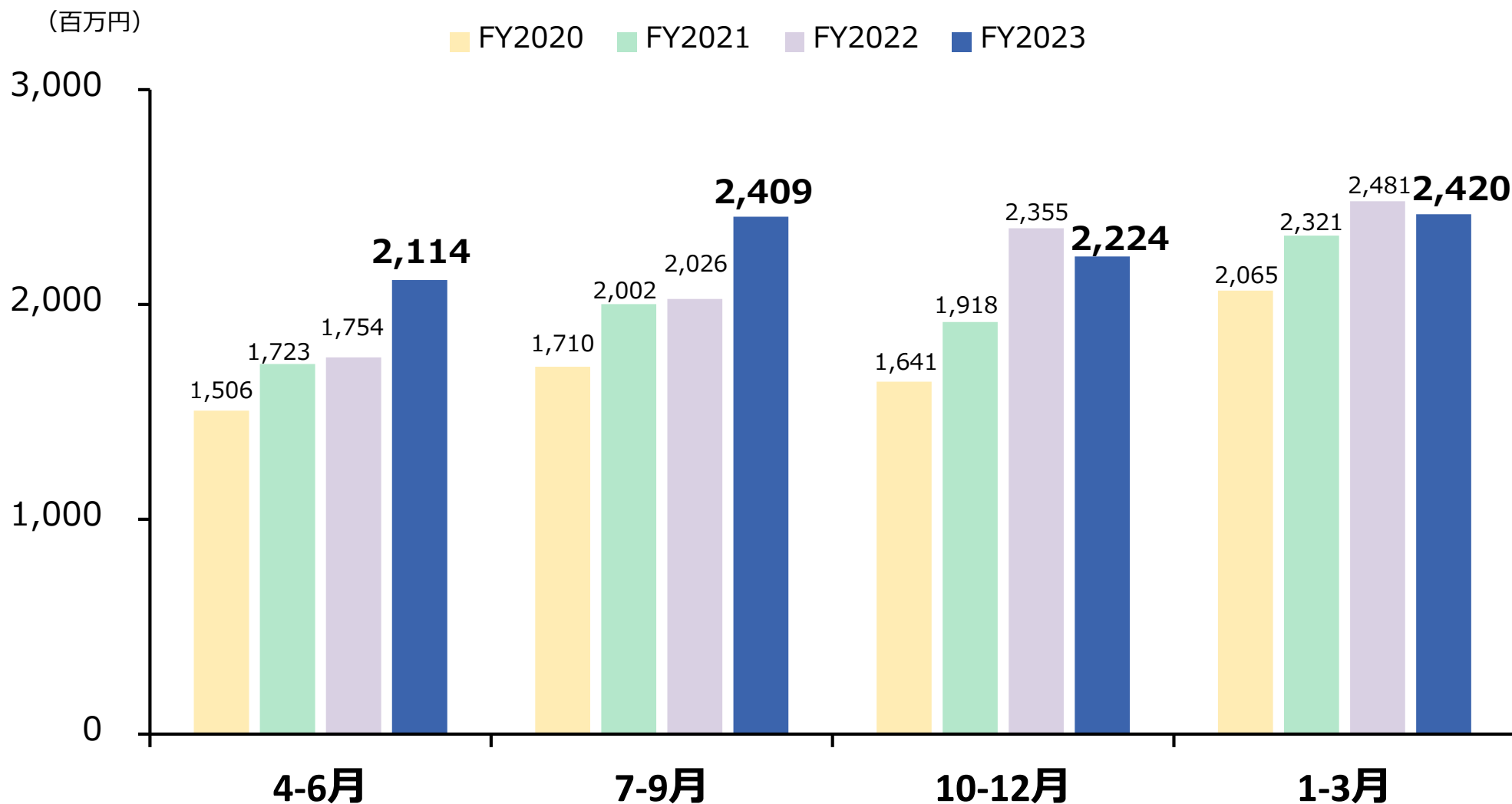
<売上高>



<セグメント利益>



5) 売上高推移 ① 計測制御機器



5) セグメント別の業績動向 ② 計装システム

損益状況

売上高



9,699百万円 前期比 36.0%増



セグメント利益

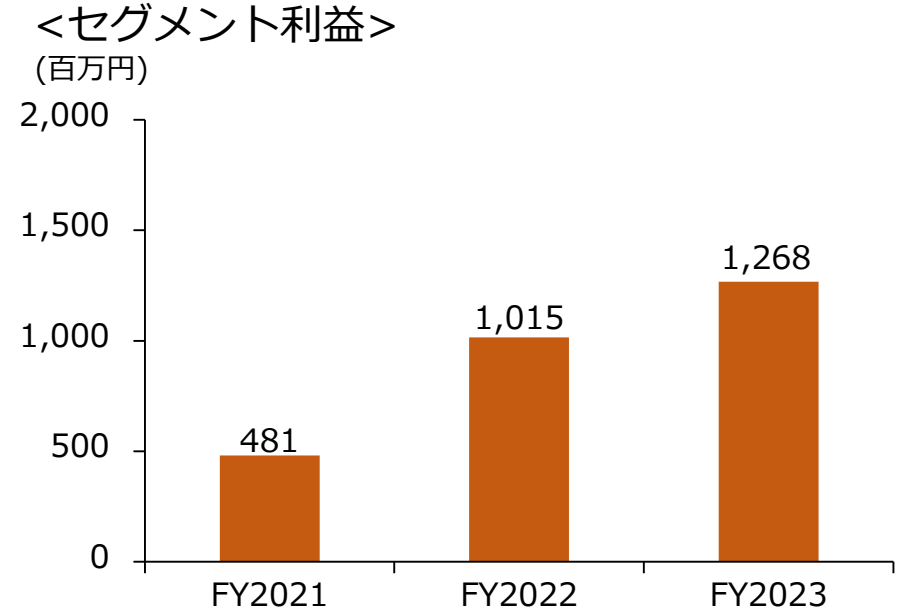
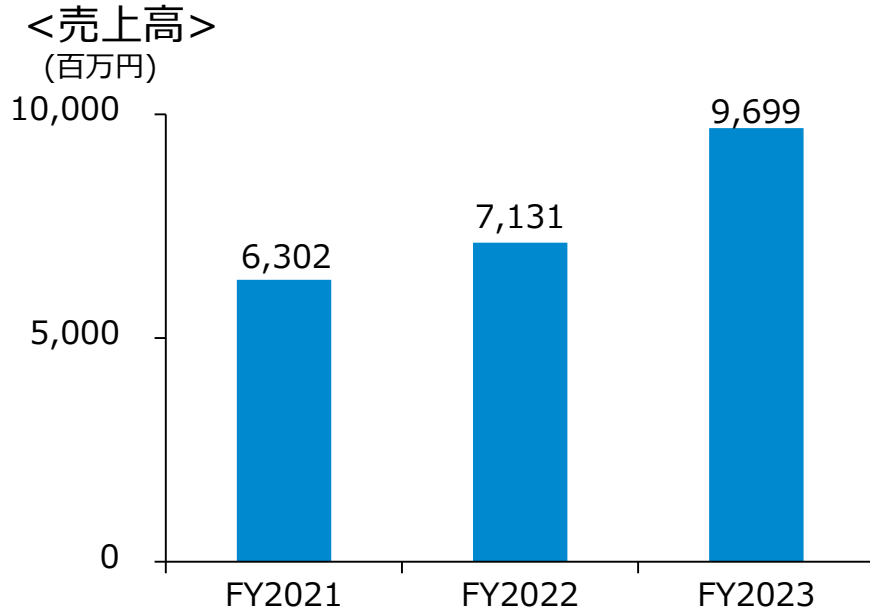


1,268百万円 前期比 24.9%増

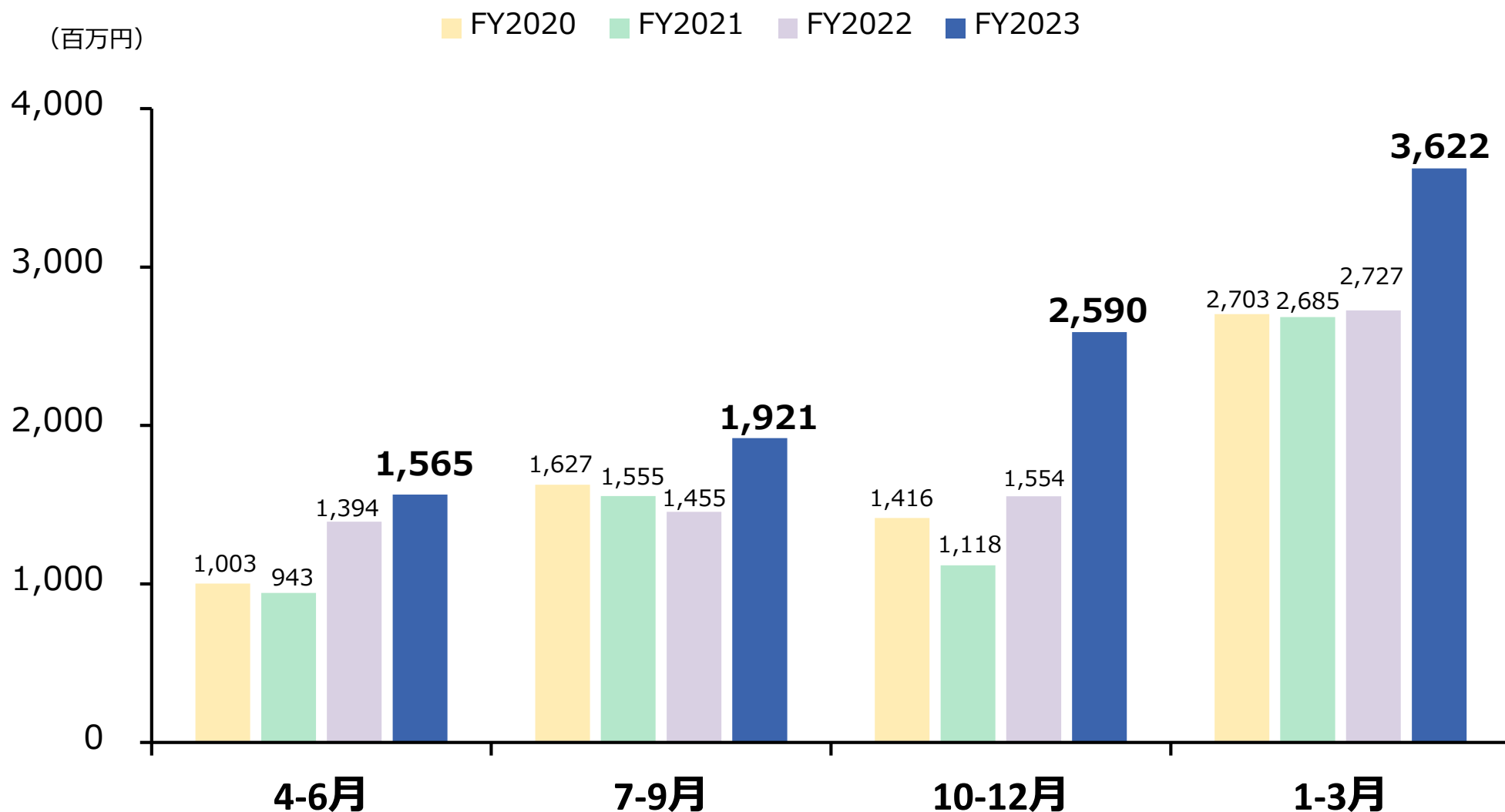


製品別状況

- 脱炭素関連として、自動車向けの燃料電池評価試験装置や、水素エネルギー利用の研究・開発用途の水電解評価装置の需要が継続
- 空調用コンプレッサ評価試験装置は、自然冷媒対応機器の需要が増加
- 利益は、新規開発案件の原価率下振れの影響があったものの、主に増収効果により前期比で増益



5) 売上高推移 ② 計装システム



5) セグメント別の業績動向 ③ センサ

損益状況

売上高



7,549百万円 前期比 6.0%増



セグメント利益



1,398百万円 前期比 7.2%増

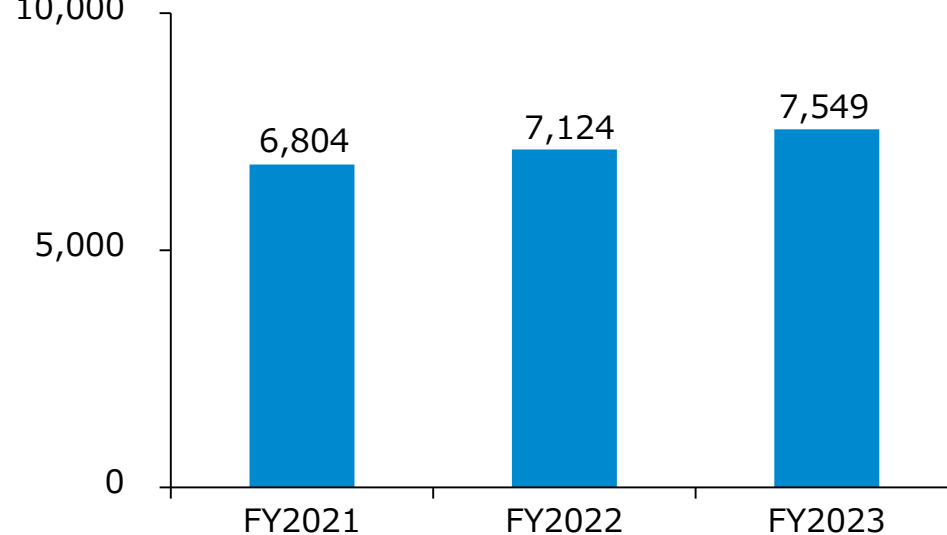


製品別状況

- 放射温度計、温度センサともに半導体関連の製造装置向けを中心に需要が好調
- AMS規格対応の温度センサの需要が堅調 ※AMS規格：航空宇宙産業における特殊工程の規格
- 利益は、増収効果等により前期比で増益

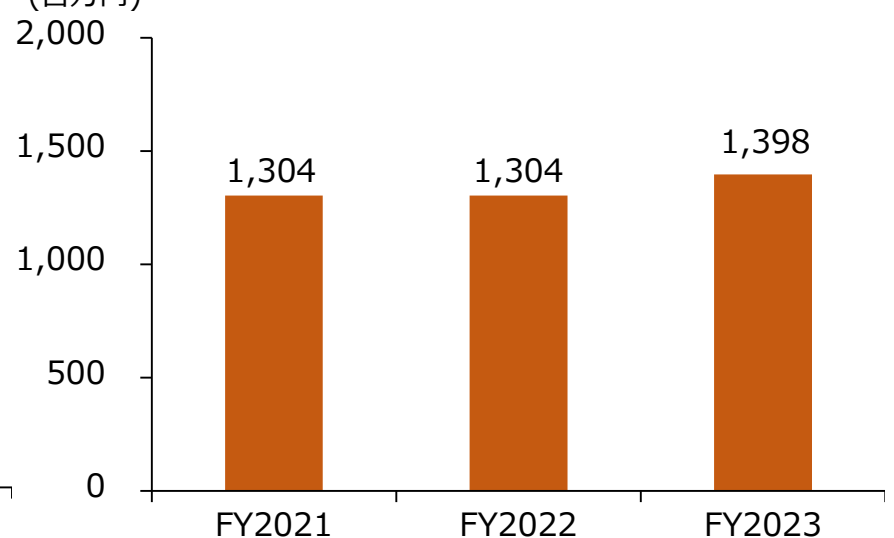
<売上高>

(百万円)
10,000

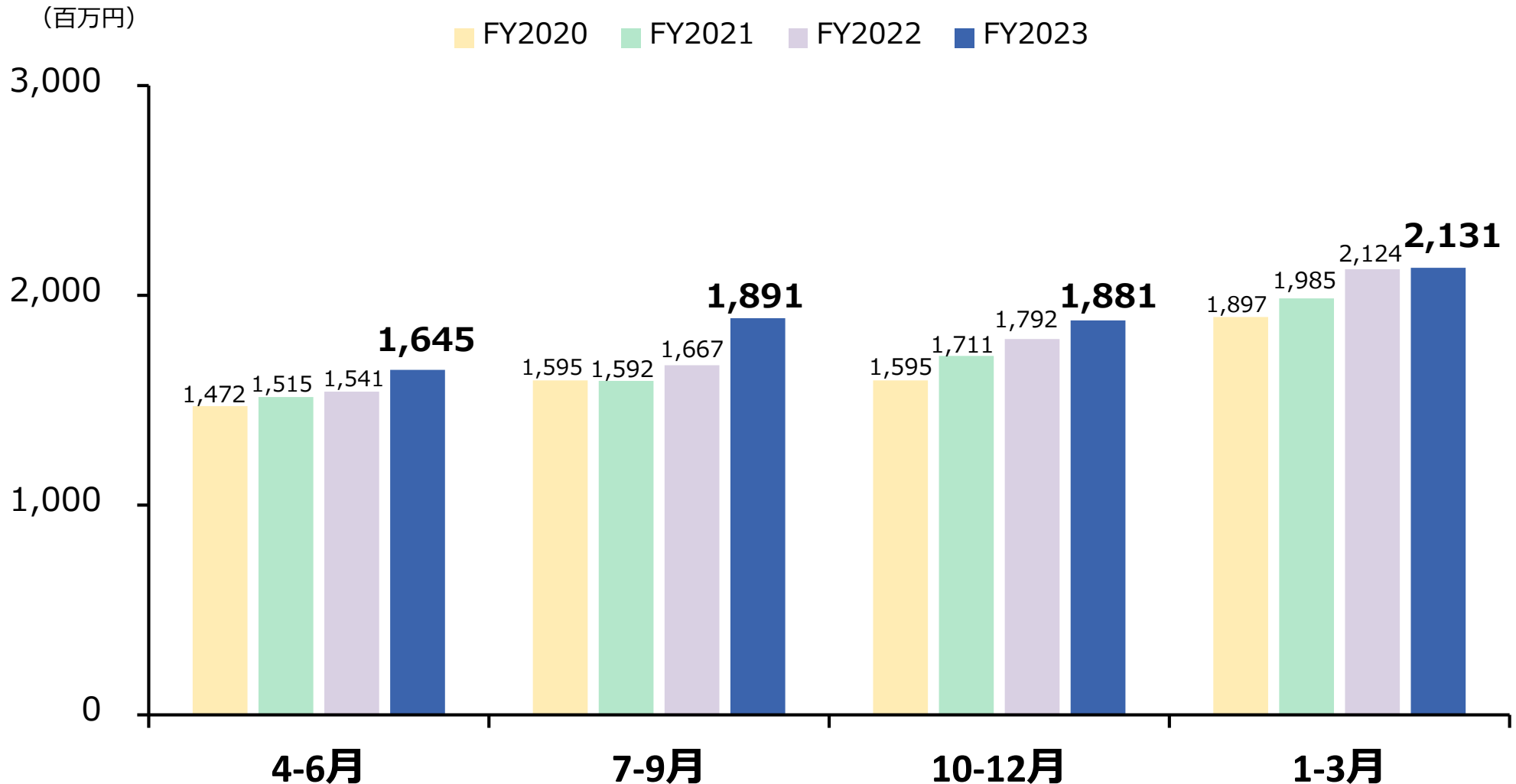


<セグメント利益>

(百万円)
2,000



5) 売上高推移 ③ センサ



6) 連結貸借対照表

- 資産 現預金が減少した一方、棚卸資産・有形固定資産等が増加し、前期末比で +240百万円
- 負債 仕入債務の減少等により流動負債は▲1,172百万円、長期借入金の減少等により固定負債は▲204百万円となり、負債合計では前期末比▲1,376百万円
- 純資産 当期純利益の計上等により、前期末比+1,617百万円

(百万円)

科目	2023年3月末	2024年3月末	増減
流動資産	26,322	26,050	▲ 272
現預金	9,176	7,305	▲ 1,871
売上債権	8,281	8,738	457
棚卸資産	8,576	9,707	1,130
その他	287	298	10
固定資産	9,967	10,480	513
有形固定資産	5,578	6,159	580
無形固定資産	436	297	▲ 139
投資その他の資産	3,952	4,023	71
資産合計	36,289	36,530	240

科目	2023年3月末	2024年3月末	増減
流動負債	10,489	9,317	▲ 1,172
仕入債務	5,317	4,618	▲ 699
短期借入金	1,724	1,581	▲ 143
その他	3,446	3,116	▲ 330
固定負債	4,225	4,021	▲ 204
長期借入金	1,660	1,443	▲ 216
その他	2,565	2,578	12
純資産	21,574	23,191	1,617
株主資本	18,471	19,654	1,182
その他の包括利益累計額	312	606	294
非支配株主持分	2,790	2,931	140
負債純資産合計	36,289	36,530	240

※自己資本比率は、2023年3月末 51.8%から2024年3月末 55.5%へと3.7ポイント上昇

7) 連結キャッシュ・フロー

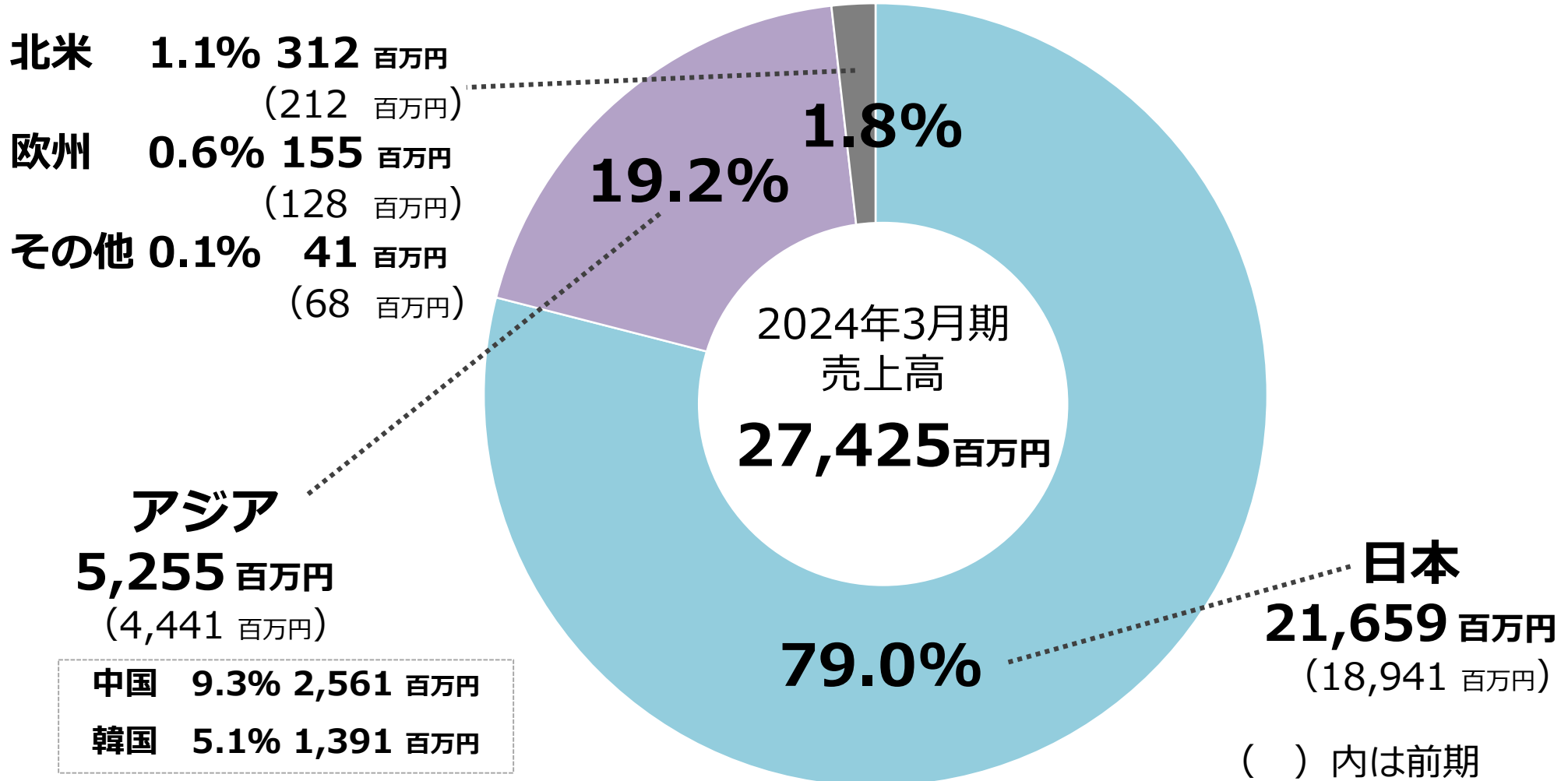
- 営業CF：棚卸資産（材料等）が増加する中で、+1.0億円（前期比▲15.2億円）
 - 投資CF：固定資産取得▲14.5億円、定期預金+10.3億円、投資有価証券売却+6.4億円等により+0.8億円（前期比+6.5億円）
- 以上の結果、フリーCFは+1.8億円（前期比▲8.7億円）
- 財務CF：配当金▲6.1億円、借入金▲3.6億円等により▲11.0億円（前期比▲17.6億円）

(百万円)

区 分	FY2022	FY2023	増減額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,619	101	▲1,518
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲564	81	646
フリー・キャッシュ・フロー（I+II）	1,054	183	▲871
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	655	▲1,104	▲1,760
IV. 現金・現金同等物の換算差額	71	60	▲10
現金・現金同等物増減	1,781	▲860	▲2,642

地域別売上高

- 国内売上高は前期比2,717百万円の増収。
海外売上高は913百万円の増収(アジア(主に中国・韓国) で813百万円の増収)。



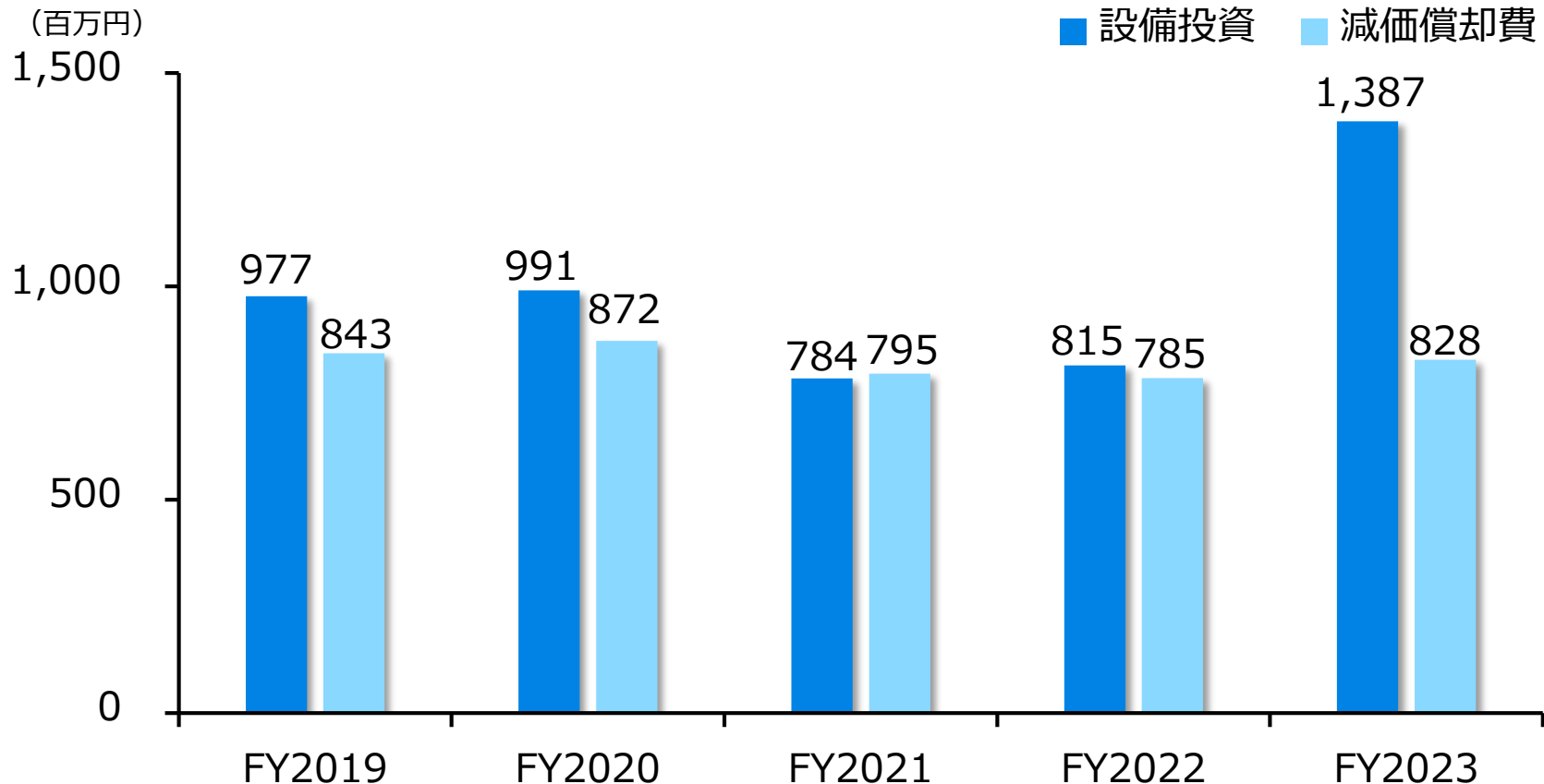
2.設備投資・減価償却費の推移

設備投資・減価償却費の推移（連結）

● 当期の設備投資は1,387 百万円
(前期比+572百万円)

＜主な設備投資＞

- ・ 建物設備更新 577百万円
(明陽電機〈第三工場〉 376百万円)
- ・ 生産効率化 339百万円

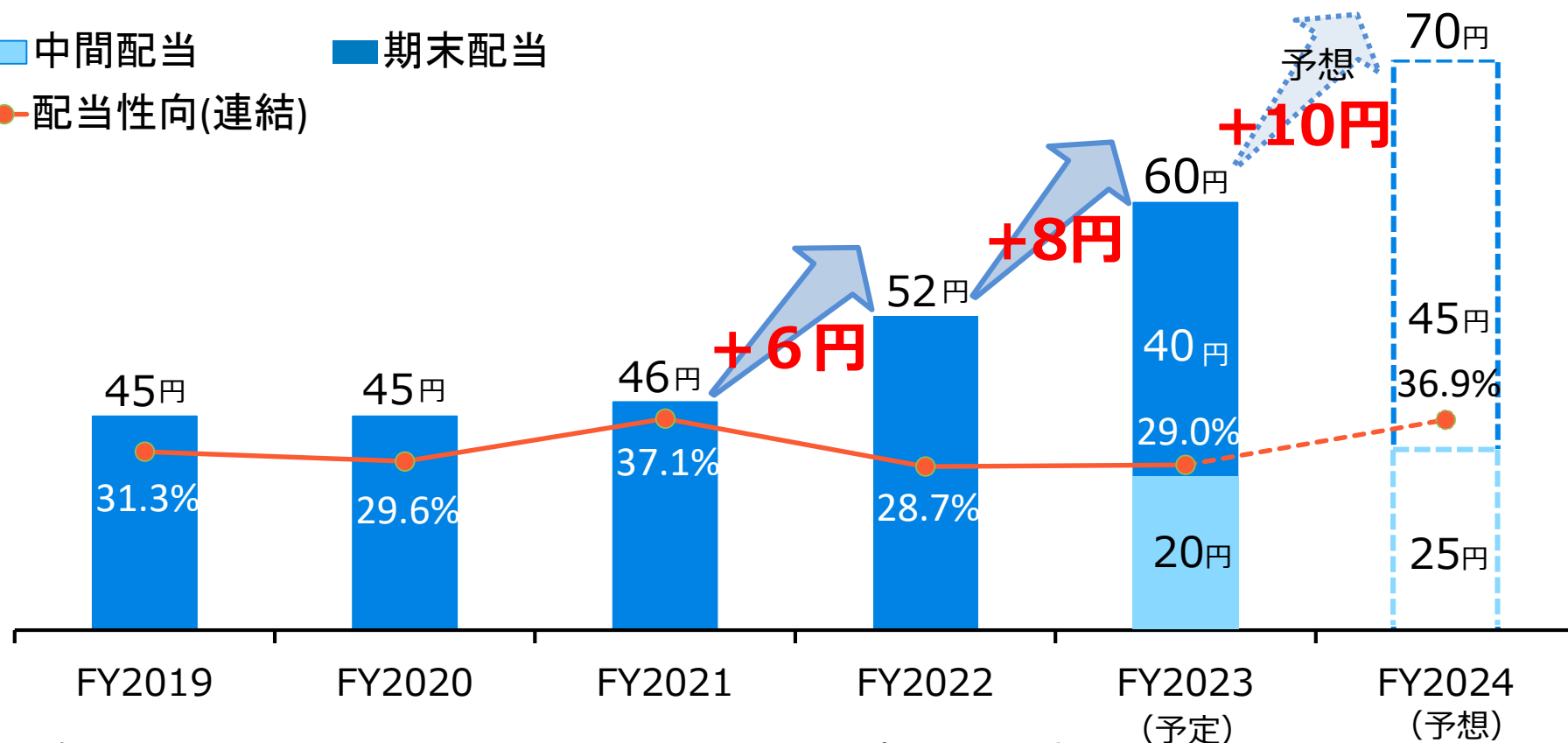


3. 株主還元

株主還元

- FY2023中間配当 : 20円
 - FY2023期末配当 : 40円
- } 60円
(FY2022比 **8円増配**)

■ 中間配当 ■ 期末配当
● 配当性向(連結)



※自社株式取得：2016年12月～2017年5月に120百万円（100,000株）実施
自己株式消却：2017年7月に300,000株実施

4. トピックス

「チノーレポート2023」

2023年10月に、財務・非財務情報を統合した「チノーレポート2023」を発行し、当社ウェブサイトにおいて公開しました。（英語版は2023年12月に公表）

本レポートは、株主・投資家の皆様に、当社グループの事業活動および中長期的な経営の取組みについてより一層深くご理解いただくことを目的として作成した年次報告書です。

本レポートをコミュニケーションツールの一つとして、ステークホルダーの皆様との対話を一層進め、今後とも中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

<URL> https://www.chino.co.jp/csr/csr_report/



5.FY2023の業績予想の達成状況

FY2023の業績予想の達成状況

- **売上高** : 半導体をはじめとする部材供給不足が一部を除いて解消され、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素化に向けた水素関連分野での需要が拡大し、前回予想を上回りました。
- **利益面** : 部材価格の高騰、年度後半に売上計上した新規開発案件の原価率への影響により、前回予想を下回りました。
(営業利益、経常利益)

(百万円)

項目	FY2023 実績	FY2023 業績予想 (2023年11月10日発表)	増減	増減比 (%)
売上高	27,425	26,400	1,025	3.9
営業利益	2,173	2,420	▲247	▲10.2
経常利益	2,413	2,620	▲207	▲7.9
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,756	1,710	46	2.7

6.FY2024の業績予想

FY2024の業績予想

- 地政学的リスクの高まり、中国経済の減速懸念、不安定な為替相場等、先行きの不透明感は増しているものの、主要顧客（自動車・電子部品分野等）および脱炭素社会に向けた水素関連分野での需要拡大が見込まれ、FY2024の業績予想は前期比増収増益（営業利益・経常利益）としております。

(百万円)

項目	FY2024 業績予想 (2024年5月13日発表)	FY2023 実績	増減	増減比 (%)
売上高	28,500	27,425	1,075	3.9
営業利益	2,450	2,173	277	12.7
経常利益	2,650	2,413	237	9.8
当期純利益 (親会社株主に帰属)	1,610	1,756	▲146	▲8.3

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社およびグループ各社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

CHINO